



## 「まちだの教育」100号発行記念

# 町田の「学び」の歩み—平成版—

1989（平成元）年7月30日の創刊から28年、「まちだの教育」は、今号で100号を迎えることとなりました。節目となる今号では、これまで「まちだの教育」がお伝えしてきた、28年間の町田の学校教育・生涯学習の主な出来事を振り返ります。



### 地域で支える町田っ子の未来探し

市立中学校の2年生全員が、市内を中心とした民間事業所等で5日間にわたって実際に仕事を体験しています。

これまでに、のべ5,200以上もの事業所の方々にご協力をいただき、約35,000人以上もの生徒が、自分の未来を考えるための貴重な体験をさせていただきました。

忠生中学校の卒業生で、現在は保育士として働いている浅野萌さんに職場体験の思い出をお話いただきました。

#### ～職場体験の思い出～

(株)こどもの森 淵野辺わんぱく園 浅野萌さん



▲69号(職場体験特集号)から

もともと保育士という職業に関心があり、市内の保育園で職場体験を行いました。「子どもたちと全力で遊ぶこと」が仕事でしたが、この5日間の体験は今も心に残っています。

中でも、なついてくれていた男の子たちがケンカを始めた時、どうしたらよいかわからずに困ってしまったことや、運動会の練習で主任の先生が新人の先生に子どもたちへの接し方をわかりやすくアドバイスされているのを見て、参考になったことが印象深い出来事です。

また、体験先では素敵な先生にお会いしました。お話ししているだけで、こちらも思わずニコニコしてしまうような笑顔がとても素敵なんです。その方から先生は笑顔が一番だということを知るとともに、自分もそんな先生になりたいと思いました。

この職場体験を終えて保育士を目指すことを決め、高校は保育の勉強ができる場所を選び進学しました。今は保育園で0・1歳児の担任をしています。毎日やりがいを感じながら働いています。

1989（平成元）. 7  
まちだの教育 創刊

1990（平成2）. 11  
中央図書館 オープン

2004（平成16）. 4  
町田市立小・中学校選択制度 開始  
「指定校」以外の学校への入学を希望できるようになりました。その後、希望できる学校の要件を変更し、名称を「通学区域緩和制度」に改めています。

2005（平成17）. 9  
中学校2年生職場体験推進事業 開始

2007（平成19）. 4  
学校支援ボランティア 開始

2008（平成20）. 4  
小中一貫町田っ子カリキュラム 開始  
小中9年間を見通した教育を推進するため、「規範教育」「キャリア教育」「食育」「英語教育」について町田市独自のカリキュラムを作成し、市立小・中学校全校で取組を開始しました。

2009（平成21）. 6  
学校支援地域理事配置 開始  
効果的かつ円滑な学校運営のため、学校ごとに地域の方々へ「学校支援地域理事」に就いていただき、ともに考え、支援していただく取組を始めました。

2012（平成24）. 4  
生涯学習センター オープン

2015（平成27）. 4  
登録文化財制度 導入

従来の指定文化財制度では対象外であった文化財についても保護や周知を図るため、より基準が緩やかで、所有者にとっての制約も少ない登録文化財制度を導入しました。

### これからも、町田の「学び」のさらなる充実を目指して

未来を担う子どもたちがよりよく成長していくため、また、だれもが生涯を通じ学び、支え合うことができる社会をつくるため、今後も町田の学校教育・生涯学習の充実に取り組んでいきます。

引き続き、市民の皆さんのご協力、ご支援をお願いいたします。

### 生涯学習の場の充実

町田駅前の新しい顔として、市内最大の図書館が開館しました。その後、鶴川駅前図書館・忠生図書館が新たに開館し、現在市内には8館の図書館が設置され、各地域で市民に必要な情報を提供する拠点となっています。

また、2006年には町田市民文学館ことばらんどがオープンし、市の文学財産を後世に伝えるとともに、文学やことばの楽しさに触れられる場を提供しています。



▲93号から

#### ▲中央図書館特集コーナー

テーマに沿った資料を並べた特集コーナーでは、利用者の方々に新たな分野の本と出会うきっかけを提供しています。

#### ▶文学館展示室

町田ゆかりの作家の紹介や、文学やことばの魅力を伝える展覧会を、年4回開催しています。



### 地域協働の学校づくり

学校のニーズに合わせて、地域の方々にボランティアとして、学校の教育活動や安全・環境整備等に関する支援を行っていただいています。

学校支援ボランティアは、学校支援地域理事とともに、学校が家庭や地域と連携し、ともに子どもを育てていく「地域協働の学校づくり」の大きな役割を担ってきました。

事業開始当初、ボランティアの数は1,800人程度でしたが、現在は約19,000人もの皆様にご協力をいただいています。



▲82号から

#### ▲総合的な学習の時間「境川 環境学習」

「町田の尾根・谷戸に親しむ会」の方が、講師となって子どもたちに草花、鳥、石ころなど川辺の環境について教えていただきました。

### 一人一人にあった多様な学習活動を支援

市民の学習活動を総合的に支援するための教育機関として、生涯学習センターを設置しました。

多様化する市民の学習ニーズに応えるため、各種講座・イベント等の開催や施設の貸出に加え、学習に関する情報の収集・提供や、学習相談などを行っています。

より充実した学びの場が提供できるよう、近隣の教育機関や市民団体、企業などとの連携を深め、協力しながら事業を展開しています。



81号から▶



◀さがまちカレッジ  
町田市と相模原市を生活圏とする大学、NPO、企業等で構成される「さがまちコンソーシアム」と連携し、成瀬地区で実施した講座「毎日みつける素敵な私—おしゃれな心のサプリメント—」